

令和 7 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち 2 教科以上を含む 6 教科を選択して受験してください。
3. 氏名、受験番号を「令和 7 年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
4. 受験番号、選択教科をマークしてください。
5. 「解答カード」の中で、特に受験番号、選択教科の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
6. 解答は、全て「解答カード」の選択教科の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
7. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
8. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 150 分です。
9. 試験が終わるまで退室できません。
10. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
11. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
12. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。

[マーク例]
13. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
14. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

(よい例) ●

(悪い例) ○ × ⊕ ⊙

目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	11
3. 算 数	19
4. 理 科	27
5. 生 活	32
6. 音 楽	38
7. 図画工作	44
8. 家 庭	52
9. 体 育	57
10. 外 国 語(英語)	64

国語

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容 2 内容〔知識及び技能〕」の(1)に示された「語彙に関する事項」に基づく当該学年の指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第 2 学年の児童に、語句には役割によるまとまりがあることを理解するとともに、その特徴や使い方によって類別できるよう、文の主語になる語句、述語になる語句、修飾する語句などのまとまりで捉えるよう指導する。

イ 第 3 学年の児童に、使いこなせる語句の量を増やすだけでなく、語彙を豊かにすることを目指して、朝の会のスピーチで、学校生活の様子や周りの人の様子、体験したことを発表し、身近なことを表す語句を自分の語彙として身に付けていくことができるよう指導する。

ウ 第 5 学年の児童に、様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、自分の語彙として身に付けるようにするため、文学的な文章を読む際、登場人物の行動や気持ち、性格などを表す語句に着目し、文章の展開を捉えることができるよう指導する。

エ 第 6 学年の児童に、思考に関わる語句の量を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化などへの理解を通して、語彙の質を高めるよう指導する。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容 2 内容〔知識及び技能〕(2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるように指導する」に示されている「情報と情報との関係」に関する当該学年の指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第 2 学年の児童に、全体と中心など情報と情報との関係について理解させるため、文章を書く際、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えるよう指導する。

イ 第 3 学年の児童に、事柄の順序など情報と情報との関係について理解させるため、社会科見学の報告文を書く際、時間や作業手順、重要度、優先度などの観点に基づき順序立てて書くよう指導する。

ウ 第 4 学年の児童に、考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解させるため、意見文を書く際、相手に自分の考えがうまく伝わるように、理由や事例を挙げながら自分の意見を明確にして構成するよう指導する。

エ 第 5 学年の児童に、共通や相違など情報と情報との関係について理解させるため、調べ学習の発表原稿を書く際、自分の意見と他者の意見との共通点や相違点を明らかにして、より説得力のある文章を書くよう指導する。

問 3 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと」の(1)に示された指導事項に基づく第4学年の学習活動である。この学習活動を行う際の指導として適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「みんなのふだんの生活について調べたことを発表しよう」という単元である。日頃の生活で友達はどのように過ごしているのか、学級のみんなに口頭によるアンケート調査をし、分かったことや考えたことについて、資料を使って学級会で発表する。

- ア 生活の中のどのようなことについて発表するかを決めるときには、興味をもっていたり疑問に思ったりしていることの中から調べてみたいことを選ぶよう指導する。
- イ アンケート調査の内容を考えるとときには、自分が聞こうとする意図に応じて、聞きたい情報を引き出せるような項目を設定するよう指導する。
- ウ アンケート調査の結果を整理するときには、集めた情報が発表の目的に合っているかどうかを意識しながら確かめ、より適切なものを見付けていくよう指導する。
- エ 調べたことを発表するときには、伝えたいことが聞き手によく伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを意識するなど、話し方を工夫するよう指導する。

問 4 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)に示された指導事項に基づく第5学年の学習活動である。この学習活動を行う際の指導として適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「読み手が納得する主張文を書こう」という単元である。自分の関心のあることから題材を決め、根拠を示しながら自分の主張を明確にして文章にまとめ、説得力のある主張文を書く。

- ア 文章を書くときには、賛成の立場から集めた材料と反対の立場から集めた材料とに分類し、一方の立場に偏りがないうる更なる情報収集を行い、相互の関係を整理することによって伝えたいことを明確にするよう指導する。
- イ 文章の構成を考えるとときには、書こうとしている材料の中から、中心に述べたいことを一つに絞り、中心になる事柄とそれに関わる他の書きたい事柄に分け、それを基に内容のまとまりで段落をつくるよう指導する。
- ウ 文章を書くときには、書く目的や意図を明確にした上で、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合などを判断しながら、書き表し方を工夫するよう指導する。
- エ 文章を整えるときには、内容や表現に一貫性があるか、目的や意図に照らして適切な構成や記述になっているかなどの観点で推敲するよう指導する。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと」の(1)のオ及びカは、次のように示されている。これらの内容をねらいとした具体的な指導として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

ア 説明的な文章を読む際、筆者の主張を捉え、自分の経験や知識と重ね合わせながら自分の考えをまとめ、それを友達と交流して、互いの意見や感想の良さを認め合えるよう指導する。

イ 説明的な文章を読む際、自分の考えをもち、それを友達と共有することによって、一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、他者の感じ方などの良さに気付くよう指導する。

ウ 文学的な文章を読む際、文章の内容だけではなく、理解したことに基づいて感想や考えをまとめ、それを友達と交流して、読み方によって感じ方に違いがあることを知るよう指導する。

エ 文学的な文章を読む際、文章を読んで理解したことについて、自分の体験と結び付けながら自分の考えをもち、それを発表して、感想を伝え合うよう指導する。

問 6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ことばはそれ自体一種のものでありながら、その中に生き生きとしたことを住まわせている。そこでは、ものとこととのあいだに一種の共生関係があるといつてよい。この共生関係を最大限に利用しているのが「詩」と呼ばれる言語芸術だろう。詩がふつうの文章と本質的に違っている点は、詩がことばというものを、しかも多くの場合さまざまなものについて語りながら、ものについての情報の伝達を目的とはせず、ことの世界を鮮明に表現しようとしているという点である。

古池や蛙飛び込む水の音

このだれにでもよく知られた芭蕉の俳句は、形の上では、いくつかの①についての描写以上のなにもをも含んでいない。古い池に蛙が飛びこんだ水の音、それだけのことであつて、文章構造の上では「木から落ちるリング」とほとんど変わらない。事実、この句をもし外国語に直訳してみたら、なんの情感もない②の世界の報告文になってしまうことだろう。

しかし日本人ならばだれひとりとして、この俳句をもの、世界の単なる報告文として読む人はいないだろう。ここには一つのこと、が隠されている。このこととは、蛙の飛びこんだ古い池の水の音のあたりで生じていること、かもしれないし、芭蕉の心の中で生じていること、なのかもしれない。あるいは、音と芭蕉とのあいだに生じていること、だというのが一番正しいかもしれない。とにかくなんらかのことが芭蕉の身辺にただよった。そして、そのことをことばにして言い表そうとして、芭蕉は「古池や蛙飛び込む水の音」と詠んだのである。

（木村敏 『時間と自己』）

上の文章中の空欄 ①， ② に入る語の組合せとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	①	②
ア	もの	もの
イ	もの	こと
ウ	こと	もの
エ	こと	こと

問 7 問 6 の文章の後には、次の一文が書かれている。筆者がこのように考える理由として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

だから、この俳句が語っていることを、これとは別のことばを用いて説明しようとしても、それは恐らく不可能だろう。

ア 俳句は、ものを表現するためにことを描写したことばを用いるという両者の共生関係によってでしか生まれないだろうと考えているから。

イ 古池、蛙、水の音といったことばを組み合わせた芭蕉の俳句によってでしか、音と芭蕉のあいだに生じていることを表現することができないだろうと考えているから。

ウ この俳句は、優れたことの世界を表現したものであり、この古池、蛙、水の音といったことばの組合せは、外国にはない世界観だと考えているから。

エ 俳句は、ものの世界を表現するために選び抜かれた言葉によって成り立っており、ここで使われたことばによってでしか描写できないだろうと考えているから。

問 8 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

他人を呼ぶに、「わが^{ことひと}ぞ」とさし出でたる。
物など取らするをりは、いとど。
おのづから、人のうへなどうちいひ^{そし}譏りたるに、
幼き子どものきき取りて、その人のあるに、いひ出でたる。

(清少納言 『枕草子』)

上の文章は、『枕草子』のいわゆる「類聚的章段(ものづくし)」と呼ばれる段の冒頭部分である。
文章中の空欄 に入る語として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア すさまじきもの
- イ はしたなきもの
- ウ ありがたきもの
- エ たのもしきもの

問 9 問 8 の文章中の傍線部「の」と同じ意味で用いられている「の」を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 人のもとに、わざと清げに書いてやりつる文の返り言、
- イ 女ども、契りふかくて語らふ人の、末まで仲よき人、かたし。
- ウ 草の花は、^{なでしこ}瞿麦。唐のはさらなり。
- エ なでふことなき人の、^ゑ笑がちにて、ものいたういひたる。

問10 次の漢文の書き下し文として最も適切なものを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【漢文】

富
与
貴
是
人
之
所
欲
也

- ア 富と貴きとは，是れ人の欲する所なり
イ 富は貴きを与え，是れ人の欲する所なり
ウ 富は貴きに与し，是の人は之を欲する所なり
エ 富は貴きよりは，是の人は之を欲する所なり

社 会

問 1 『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 社会的事象について調べたことをまとめるとともに、その特色や意味を考えることが大切である。

イ 児童の発達の段階を考慮し、生産者と消費者、情報の送り手と受け手など複数の立場の中から一つを選んで考えるようにすることが大切である。

ウ 主権者として求められる資質・能力を育成する観点から、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて、自分たちの行動や生活の仕方や、これからの社会の発展などよりよい社会の在り方などについて考えることが大切である。

エ 考えたり選択・判断したりしたことを根拠や理由を明確にして論理的に説明したり、他者の主張を踏まえて議論したりするなど、言語活動の一層の充実を図るようにすることが大切である。

問 2 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年〕 2 内容」の記述の一部である。この内容の取扱いとして適切でないものを、下の選択肢ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(4) 市の様子に移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。

〔選択肢〕

ア アの(イ)の「年表などにまとめる」際には、時期の区分について、昭和、平成など元号を用いた言い表し方などがあることを取り上げること。

イ イの(ア)の「公共施設」については、市が公共施設の整備を進めてきたことを取り上げること。その際、租税の役割に触れること。

ウ イの(ア)の「人口」を取り上げる際には、少子高齢化、国際化などに触れ、これからの市の発展について考えることができるよう配慮すること。

エ イの(ア)の「人々の生活の様子」については、節水や節電など自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

問 3 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第4学年〕2 内容」の記述の一部である。文章中の空欄 ①， ② に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，下の選択肢ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(5) 県内の特色ある地域の様子について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の特色ある地域では，人々が協力し，特色あるまちづくりや ① などの産業の発展に努めていることを理解すること。

(イ) 地図帳や各種の資料で調べ，白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の ②，人々の協力関係などに着目して，地域の様子を捉え，それらの特色を考え，表現すること。

[選択肢]

①

②

ア 農業 社会的影響

イ 農業 歴史的背景

ウ 観光 社会的影響

エ 観光 歴史的背景

問 4 次の①～④は、2022(令和4)年における政令指定都市の人口1位～5位の都市、人口16位～20位の都市、人口密度1位～5位の都市、人口密度16位～20位の都市のいずれかである。人口1位～5位の都市と人口16位～20位の都市の組合せとして最も適切なものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

①

1位	大阪市
2位	川崎市
3位	横浜市
4位	名古屋市
5位	さいたま市

②

1位	横浜市
2位	大阪市
3位	名古屋市
4位	札幌市
5位	福岡市

③

16位	新潟市
17位	熊本市
18位	相模原市
19位	岡山市
20位	静岡市

④

16位	広島市
17位	新潟市
18位	岡山市
19位	浜松市
20位	静岡市

『日本国勢図会 2023/24年版』より作成

[解答群]

	人口1位～5位の都市	人口16位～20位の都市
ア	①	③
イ	①	④
ウ	②	③
エ	②	④

問 5 第 5 学年における「我が国の農業や水産業における食料生産」の単元で、輸入など外国との関わりに着目して考察するために、主な農産物の輸入先を調べた。次の表は、2021(令和 3)年における主な農産物の輸入先上位 3 か国と輸入額の割合を示したもので、表中の **ア**～**エ**は、果実、小麦、とうもろこし、野菜のいずれかである。とうもろこしに当てはまるものを、**ア**～**エ**の中から一つ選んで記号で答えなさい。

(%)

	1 位	2 位	3 位
ア	アメリカ合衆国 72.7	ブラジル 14.2	アルゼンチン 8.0
イ	アメリカ合衆国 45.1	カナダ 35.5	オーストラリア 19.2
ウ	中国 49.4	アメリカ合衆国 15.0	韓国 5.4
エ	フィリピン 18.9	アメリカ合衆国 18.7	中国 14.1

『日本国勢図会 2023/24 年版』より作成

問 6 次の各文は、第 6 学年の「国や地方公共団体の政治」を扱う単元の学習を構想するに当たり、教師が調べた内容である。我が国の地方自治の仕組みとして適切でないものを、**ア**～**エ**の中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 地方自治の特徴は、地方議会の議員と地方公共団体の首長の両者を、住民が直接選挙で選ぶことである。

イ 地方自治は、住民の身近な生活に深く関わるため、国の政治とは異なり、首長が議会を解散したり、議会が首長の不信任の議決をしたりすることはできない。

ウ 地方自治では、住民の直接請求権が幅広く認められており、住民が必要な数の署名を集めることで、首長などの解職や議会の解散を請求することができ、その後の住民投票で過半数の賛成があれば解職や解散が決定される。

エ 地方公共団体の財政を補うために、国から地方交付税交付金が配分されたり、国庫支出金が支払われたりしているが、国庫支出金は使い道が限定されており、自由に使うことができない。

問 7 我が国の社会保障に関する内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 日本の社会保障制度は、社会保険、社会福祉、公的扶助、保健医療・公衆衛生の四つの柱からなっており、生活保護制度は、公的扶助に当たる。

イ 社会保険には、医療保険、年金保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険(労災保険)があるが、このうち医療保険と年金保険が強制加入となっている。

ウ 公的年金制度である国民年金保険について、民法の改正によって成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、現在、日本国内に住んでいる18歳以上60歳未満の人は全て国民年金に加入することになっている。

エ 行政手続きの簡素化や国民の利便性向上などを目的に導入されたマイナンバー制度は、正式には社会保障・税番号制度といい、マイナンバーカードを申請した人に12桁の番号が付与される仕組みである。

問 8 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」では、第6学年の歴史学習で取り上げる42名の人物が例示され、それらの人物の働きを通して学習できるよう指導することが求められている。例示された42名に含まれない人物を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 聖徳太子

イ 推古天皇

ウ 小野妹子

エ 中大兄皇子

問 9 第6学年の「我が国の歴史上の主な事象」を扱う単元で、江戸幕府の仕組みについての学習を行った。江戸幕府において「朝廷の監視」を担った職を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 六波羅探題

イ 鎮西探題

ウ 管領

エ 京都所司代

問10 第6学年の「我が国の歴史上の主な事象」を扱う単元で、大正時代から昭和時代に起こった出来事を年表にまとめる活動を行った。年代の古いものから順に配列して3番目に当たるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 満州事変

イ 日本が国際連盟を脱退

ウ 関東大震災

エ 第一次世界大戦

算 数

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 算数科の目標及び内容 第1節 算数科の目標 1 教科の目標 (2) 目標について」の「学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度」に関する記述の一部である。文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

よりよく問題解決するということは、一つの方法で解決したとしても別な方法はないかと考えを進め、本質的に違う方法でも解決することであり、二通りの方法を見いだしたら、ほかの場面にそれらの方法を適用し、それぞれの方法の ① を検討することでもある。このように、数学的に表現・処理したことや自らが判断したことを振り返り、状況によってはそれを ② に検討するなどして、考察を深めたり ③ に分析したりすることが、よりよい問題解決の実現につながる。

- | | ① | ② | ③ |
|---|-----|-----|-----|
| ア | 効率性 | 批判的 | 発展的 |
| イ | 可能性 | 統合的 | 多面的 |
| ウ | 効率性 | 統合的 | 発展的 |
| エ | 可能性 | 批判的 | 多面的 |

問 2 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 算数科の目標及び内容 第1節 算数科の目標 1 教科の目標 (2) 目標について」の「数学的活動を通して」に関する記述の一部である。文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

算数科においては、「日常の事象を数理的に捉え、数学的に ① し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考えたりする」とことと、「算数の学習場面から問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って ② に考えたりする」とことの二つの問題発見・解決の過程が相互に関わり合っている。また、これらの基盤として、各場面で ③ を充実させ、それぞれの過程や結果を振り返り、評価・改善することができるようにすることも大切である。

- | | ① | ② | ③ |
|---|-------|---------|------|
| ア | 表現・処理 | 統合的・発展的 | 言語活動 |
| イ | 解釈・考察 | 探究的・創造的 | 言語活動 |
| ウ | 表現・処理 | 探究的・創造的 | 操作活動 |
| エ | 解釈・考察 | 統合的・発展的 | 操作活動 |

問 3 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 算数科の目標及び内容 第1節 算数科の目標 1 教科の目標 (2) 目標について」の「数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付ける」に関する記述の一部である。文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

問題を解決する過程においては、数学的な概念や性質及び数学的な表現や処理の仕方を活用できるようにすることが大切である。それらの理解を深めたり仕方を ① したりする際には、数学的活動を通して学習できるように配慮する。また、算数の知識及び技能を ② において活用するためには、それらをどのように活用するか、その ③ について理解する必要がある。例えば、「比例の係数を用いた ② の ③ を知ること」のように、いわば「 ③ 知」とでも呼ばれる知識を身に付けることが大切である。

	①	②	③
ア	習得	学習活動	内容
イ	習得	問題解決	方法
ウ	探究	学習活動	内容
エ	探究	問題解決	方法

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 各学年の目標及び内容」における「C 測定」の領域では、時刻と時間の指導について説明されている。次の①～④の指導内容と指導する学年の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 1分間は60秒であること。
- ② 学校から帰る時刻や寝る時刻などを「午前」「午後」を用いて表現すること。
- ③ 時計の観察や操作を通して時刻を読むこと。
- ④ 1時間は60分であること。

	①	②	③	④
ア	第1学年	第3学年	第2学年	第1学年
イ	第3学年	第2学年	第1学年	第2学年
ウ	第3学年	第3学年	第2学年	第1学年
エ	第1学年	第2学年	第1学年	第3学年

問 5 次の①～④は、繰り上がりのある加法，繰り下がりのある減法の計算方法を示したものであり，A～Dは，加法，減法の計算方法の名称を示したものである。計算方法とその名称の組合せとして最も適切なものを，下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【計算方法】

- ① $8 + 7$ を計算するために，8 を 3 と 5 に分解し，3 と 7 を足して 10 とし，この 10 に 5 を加えて 15 とする。
- ② $8 + 7$ を計算するために，7 を 2 と 5 に分解し，2 と 8 を足して 10 とし，この 10 に 5 を加えて 15 とする。
- ③ $12 - 7$ を計算するために，7 を 2 と 5 に分解し，12 から 2 を引いて 10 とし，この 10 から 5 を引いて 5 とする。
- ④ $12 - 7$ を計算するために，12 を 10 と 2 に分解し，10 から 7 を引いて 3 とし，この 3 に 2 を足して 5 とする。

【計算方法の名称】

- A 加数分解による方法
- B 被加数分解による方法
- C 減加法による方法
- D 減々法による方法

[解答群]

	①	②	③	④
ア	A	B	D	C
イ	B	A	D	C
ウ	A	B	C	D
エ	B	A	C	D

問 6 次の①～④は、グラフ等に関する説明であり、A～Dは、グラフ等の名称を示したものである。グラフ等に関する説明とその名称の組合せとして最も適切なものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【グラフ等に関する説明】

- ① 階級に分けて集計し、度数の多さを高さに対応させて表したもの
- ② 質的データを集計した個数を高さで表していて、量的データの値をそのまま高さに対応させて表したもの
- ③ 長方形を割合に対応させて幾つかの長方形に区切って表したもの
- ④ 数直線上の該当する箇所にデータを配置し、同じ値のデータがある際には積み上げて表したもの

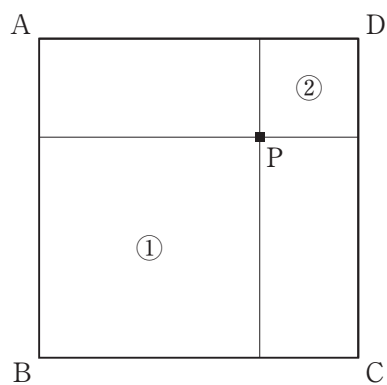
【グラフ等の名称】

A 棒グラフ B 帯グラフ C ドットプロット D 柱状グラフ

[解答群]

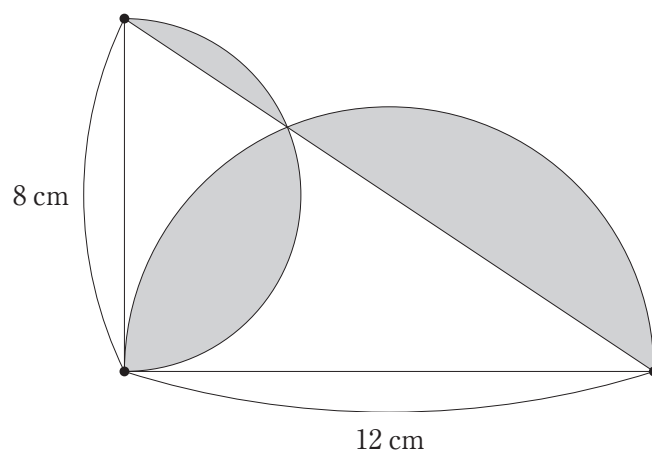
	①	②	③	④
ア	D	C	B	A
イ	B	C	D	A
ウ	D	A	B	C
エ	B	A	D	C

問 7 四角形 ABCD は、1 辺の長さが 30 cm の正方形で、対角線 BD 上に動点 P がある。次の図のように点 P を通る 2 本の直線を引いて、2 つの正方形①と②をつくる。①と②の面積の和が 548 cm^2 になるとき、①と②の 1 辺の長さの比として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア 2 : 3 又は 3 : 2
- イ 1 : 4 又は 4 : 1
- ウ 7 : 8 又は 8 : 7
- エ 4 : 11 又は 11 : 4

問 8 次の図のように直径 8 cm の半円と直径 12 cm の半円，底辺が 12 cm で高さが 8 cm の直角三角形が重なっている。灰色部分の面積として最も適切なものを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。ただし，円周率は π とする。



ア $26\pi + 48(\text{cm}^2)$

イ $16\pi + 24(\text{cm}^2)$

ウ $26\pi - 48(\text{cm}^2)$

エ $16\pi - 24(\text{cm}^2)$

問 9 a, b を正の数とすると，「 $a^2 + b^2 > 50$ ならば， $a > 5$ または $b > 5$ である」という命題の対偶として最も適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

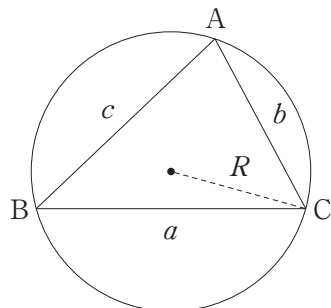
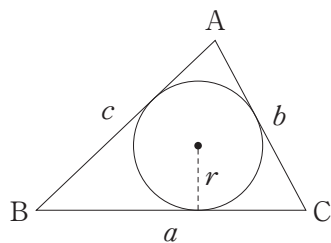
ア $a \leq 5$ かつ $b \leq 5$ ならば， $a^2 + b^2 \leq 50$ である。

イ $a \leq 5$ または $b \leq 5$ ならば， $a^2 + b^2 \leq 50$ である。

ウ $a > 5$ または $b > 5$ ならば， $a^2 + b^2 > 50$ である。

エ $a > 5$ かつ $b > 5$ ならば， $a^2 + b^2 > 50$ である。

問10 次の図のように $\triangle ABC$ は、3 辺の長さが a, b, c で、内接円の半径は r 、外接円の半径は R である。 $\triangle ABC$ の面積を S とするとき、 S を表している式の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア $S = \frac{(a + b + c)r}{2}$, $S = \frac{abc}{4R}$
 イ $S = \frac{(a + b + c)}{4r}$, $S = \frac{abc}{4R}$
 ウ $S = \frac{(a + b + c)}{4r}$, $S = \frac{abcR}{2}$
 エ $S = \frac{(a + b + c)r}{2}$, $S = \frac{abcR}{2}$

理科

問 1 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年〕 2 内容 A 物質・エネルギー (3) 光と音の性質」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 日光は直進すること。

イ 日光は集めたり反射させたりできること。

ウ 日光は屈折させたり、いろいろな色に分けたりできること。

エ 物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わる。

問 2 第5学年で「電流がつくる磁力」を学習する。「電流がつくる磁力」に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがある。

イ 回路に流れる電流の向きが変わると、電磁石の極も変わる。

ウ コイルの巻数や導線の長さは変えずに、乾電池の個数を1個から2個(直列つなぎ)に増やすと、回路に流れる電流が大きくなり、電磁石の強さは強くなる。

エ 乾電池の個数や導線の長さは変えずに、コイルの巻数を100回から200回に増やすと、回路に流れる電流が大きくなり、電磁石の強さは強くなる。

問 3 水や水溶液の体積に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 水の体積は約4℃で最も小さくなる。

イ 0℃における1gあたりの体積を比較すると、水の方が氷よりも小さい。

ウ 水1molにエタノール1molを混ぜたときの体積は、混ぜる前の水とエタノールの体積を足した合計よりも小さくなる。

エ 水80.0gに塩化ナトリウム20.0gを完全に溶かした後の水溶液の体積は、 89.2 cm^3 となる。ただし、水の密度を 1.00 g/cm^3 、塩化ナトリウムの密度を 2.17 g/cm^3 とする。

問 4 物質に関する内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 水分子(H_2O)は折れ曲がった構造をしており、極性がある。
- イ 二酸化炭素分子(CO_2)は折れ曲がった構造をしており、極性がない。
- ウ アンモニア分子(NH_3)は正三角形の構造をしており、極性がある。
- エ 水素分子(H_2)は正四面体型の構造をしており、極性がある。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第6学年〕 1 目標 (1) 物質・エネルギー」に示された内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 水溶液の性質、燃焼の仕組み、振り子の運動及び電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- イ 燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。
- ウ 燃焼の仕組み、てこの規則性及び電流がつくる磁力について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。
- エ 物の溶け方、燃焼の仕組み及び振り子の運動についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

問 6 第3学年で「身の回りの生物」を学習する。「卵→幼虫→^{さなぎ}蛹→成虫」という変態の仕方をする昆虫として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア エンマコオロギ
- イ アブラゼミ
- ウ カブトムシ
- エ ショウリョウバッタ

問 7 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年〕 2 内容 B 生命・地球 (2) 動物の誕生」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 魚には雌雄があること。

イ 魚が産んだ卵は、日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。

ウ 人は、母体内で成長して生まれること。

エ 人の受精に至る過程を取り扱うこと。

問 8 第6学年で「人の体のつくりと働き」を学習する。人の臓器に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 血液は、心臓の動きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいる。

イ 膀胱^{ぼうこう}では、血液中から水分や窒素代謝産物などをろ過し、尿を生成している。

ウ 肝臓では、グリコーゲンの合成・貯蔵・分解をしている。

エ 大腸では、小腸で消化・吸収されなかった食物から水分を吸収している。

問 9 地震に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 震度は、0 から 7 に分けられ、さらに 5 と 6 は、それぞれ強と弱に分けられる。

イ 地震のエネルギーは、マグニチュードが 1 大きくなると約 32 倍になり、マグニチュードが 2 大きくなると約 1000 倍になる。

ウ マグニチュードは、地震が発するエネルギーの大きさを示す指標であり、対数を用いた式で計算して求められる値である。

エ 震度は、その場所における揺れの大きさの尺度であり、マグニチュードと比例する。

問10 第4学年の内容「天気の様子」を扱う単元では、「水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと。また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあること」を学習する。水の蒸発や雲のでき方に関する内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 1気圧のとき、水は100℃で沸騰してすべて水蒸気になるため、水蒸気をいくら加熱しても100℃を超えることはない。

イ 気温が0℃より低いときには、空気中の水蒸気量は0となる。

ウ 雲は、水蒸気を含む空気が上昇し、上空で水蒸気が冷えてできるもので、上空の空気が冷える原因の一つは、空気が上昇しながら膨張するためである。

エ 水蒸気が凝結して水となるとときには、熱エネルギーを必要とするため、雲はますます冷たくなっていく。

生 活

問 1 第 1 学年において「きれいな花が さいたね」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 集めた種の色や形、大きさ、数などを調べたり、まいた種と比べたりする場を設定する。
- イ 種をまく方法や準備、水やりなどについて、栽培経験のある児童の発言を生かすようにする。
- ウ 植物の世話をしている気付いたことを紹介し合う場面では、これまでの記録カードを提示したり、成長の様子を身体で表現したりして、成長への気付きを促す。
- エ 集めた種は、学級の約束として必ず各自で家に持ち帰り、大切に保管するようにする。

問 2 第 1 学年において「生きもの 大すき」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 生活科は直接体験を重視しており、単元の導入において児童一人一人が虫と直接触れ合う場面を設定することが大切である。
- イ 「どんなところにいるのかな」と投げかけることによって、虫の居場所とその状況、虫の様子などに児童の関心が向けられるようにする。
- ウ 虫が死んでしまわないよう、前時から日にちや時間を空けずに授業を行い、児童にも「虫たちが元気で過ごせるように」と生育環境を整える必要性に気付くことができるようにする。
- エ 体温の温かさや心臓の鼓動など、動物も自分と同じ生命をもって生きていることを児童が実感できるよう、繰り返し動物と関わる時間と場を設定する。

問 3 第 1 学年において「たのしい あき いっぱい」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 最近見られる草花や樹木、虫について話し合うことを通して、活動への意欲を高めるようにする。
- イ 「夏の頃と比べて、違ったところはどんなところですか」と問うことによって、思考の深まりを促す。
- ウ 季節の違いによって楽しめる遊びよりも、季節に関係なく楽しめる遊びを見付けるようにする。
- エ 自然の中での活動を通して見つけた秋のお薦めを「みんなに教えよう」と投げかけ、伝え合う活動を設定することで、秋の特徴を整理できるようにする。

問 4 第2学年において「もっと なかよし 町たんけん」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 導入場面では、絵地図などを見ながら探検先とコースを確認する。その際、危険な場所や注意の必要な場所も合わせて確認し、グループごとの話し合いの参考にできるようにする。

イ 必要に応じて、デジタルカメラやタブレット端末などを使い、町探検で見付けたことを記録する。それに基づき話し合うことにより、児童一人一人の発見が共有されやすくなる。

ウ いろいろな場所を探検し、多くの発見ができるようにするため、グループごとの探検場所が重ならないよう教師が指示する。

エ 活動時間を十分に保障できるよう、探検のルールやマナーについて事前に十分確認しておく。挨拶の仕方、インタビューの仕方、メモの取り方などもシミュレーションしておくといふ。

問 5 第2学年において「ぐんぐんそだて わたしの 野さい」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 自分の育てたい野菜を、栽培する時期や場所などの条件で分類しながら決めることができるようにする。その際、種まきや苗の植え付けの方法、育て方についても確認する。

イ 第1学年で花を栽培した経験を思い出し、どのような世話が必要なのかを考えることができるようにする。

ウ 野菜の成長を報告する会を開き、育てている野菜の成長の様子、野菜の種類が違えば世話の仕方も違うことに気付くことができるようにする。

エ 長期にわたる栽培活動では、野菜がうまく育たないことも考えられる。その場合は、教師が解決策を示したり、児童が悲しまないよう教師が野菜の手入れなどを行ったりする。

問 6 第2学年において「うごく おもちゃづくり」という単元の授業を行うことになった。遊びや遊びに使う物を工夫してつくる活動を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 集めておいた牛乳パックやトレイ，空き箱などの材料を示しながら，どんな材料が必要か考えさせ，おもちゃづくりへの期待を高めるとともに，豊かな発想につなげていくようにする。
- イ おもちゃづくりに没頭している児童には，単元の最後まで一人で創作活動が続けさせ，安全に留意して見守るようにする。
- ウ おもちゃがよく動くようにするために，工夫したことや困っていることを発表し，自分のおもちゃへの工夫につなげていけるようにする。
- エ できたおもちゃを使って，どのような遊び方が考えられるか話し合い，遊び方のルールを決めて遊ぶ会などを行う。

問 7 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 生活科の目標 第1節 教科目標 3 資質・能力の三つの柱としての目標の趣旨 (1) 「知識及び技能の基礎」に関する目標」に示された内容として適切でないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 生活科における気付きは，諸感覚を通して自覚された個別の事実であるとともに，それらが相互に関連付けられたり，既存の経験などと組み合わせられたりすることが重要である。
- イ 生活科においては，生活上必要な習慣や技能を取り出して指導することで，習慣や技能を実生活や実社会の中で生きて働くものとすることができる。
- ウ 生活科における「知識及び技能の基礎」としては，活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然やそれらの関わり等についての気付きが生まれることが考えられる。
- エ 生活科でいう身近な人々とは，家族や友達，近所の人，地域の人などであり日頃から顔を合わせるような人々である。また，遠く離れた場所に住んでいても心的に強くつながっているような人々である。

問 8 『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項」において、「スタートカリキュラムの編成」について述べられている。次のア～エの中から適切でないものを、一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 児童の発達の特性或幼児期からの学びと育ちを踏まえ、児童の実態からカリキュラムを編成する。
- イ 幼稚園・認定こども園・保育所への訪問や教職員との意見交換、指導要録等を活用するなど、幼児期の学びと育ちの様子や指導の在り方を把握することが重要である。
- ウ 関連付けることで生活科における学習活動の効果を高められる他教科等と、合科的・関連的に単元を構想していくようにする。
- エ 小学校での学習に慣れるように 1 単位時間当たり 45 分の時間割を守って、学習を進めていけるように学習内容を工夫する。

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 2 節 生活科における年間指導計画の作成」に示された内容について、次の文中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ・指導計画の作成に当たっては、一人一人に即して ① の両面にわたる観点から児童の実態を的確に把握し、個々の児童に対応した指導ができるようにすることが大切である。
- ・生活科と各教科等は、互いに ② 関係にあるので、低学年における ③ ながら、各教科等で身に付ける知識や技能等を十分に把握し、生活科との関連を図った年間指導計画を作成する。
- ・近隣の幼稚園や保育所など、幼児期の教育に携わる人々と交流し、協力体制づくりに努め、幼児と児童の交流が ④ ，計画的に行われるよう、相互に年間計画に位置付けたり、事前や事後の打合せを行ったりすることが大切である。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---------|-------------|--------------------------|---------|
| ア | 個性と協力性 | 補い合い・支え合う | 生活圏を踏まえ | 互惠的，継続的 |
| イ | 個性と協力性 | 関わり合い・助長し合う | 教育全体を俯瞰 ^{ふかん} し | 積極的，発展的 |
| ウ | 個別性と協働性 | 補い合い・支え合う | 教育全体を俯瞰し | 互惠的，継続的 |
| エ | 個別性と協働性 | 関わり合い・助長し合う | 生活圏を踏まえ | 積極的，発展的 |

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第5章 指導計画の作成と学習指導 第3節 単元計画の作成
5 学習評価の在り方」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 生活科の評価は、学習の過程における活動や体験そのものと同程度に結果を重視して行われる。

イ より信頼性の高い評価となるように、児童の姿への多面的な評価を可能にする様々な立場からの評価資料を収集する。

ウ 1単位時間での評価だけでなく、単元全体を通しての長期にわたる評価も重視し、授業時間外の児童の姿の変容にも目を向けて評価の対象に加える。

エ 児童の学習状況の評価のほかに、学習活動や学習対象の選定、学習環境の構成、配当時数などの単元計画や年間指導計画などについても評価を行う。

音 楽

問 1 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第1 目標」に示された内容である。文中の空欄 に当てはまる語句として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、 と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

ア 音楽を愛好する心情

イ 音楽についての理解

ウ 音楽表現をするために必要な技能

エ 音楽表現を工夫すること

問 2 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の1に示された内容である。文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(1) 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の ① の実現を図るようにすること。その際、 ② を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさなどを見いだしたりするなど、 ③ を大切にした学習の充実を図ること。

	①	②	③
ア	主体的・対話的で深い学び	音楽的な見方・考え方	思考、判断し、表現する一連の過程
イ	主体的・対話的で深い学び	音楽に対する想像力	他者と共に一つの音楽表現をつくる過程
ウ	個別最適な学びと協働的な学び	音楽に対する想像力	思考、判断し、表現する一連の過程
エ	個別最適な学びと協働的な学び	音楽的な見方・考え方	他者と共に一つの音楽表現をつくる過程

問 3 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2に示された内容である。文章中の空欄 に当てはまる語句として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(4) 各学年の「A表現」の(1)の歌唱の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ア 歌唱教材については、我が国や郷土の音楽に愛着がもてるよう、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されている や民謡など日本のうたを含めて取り上げるようにすること。

ア うたい
謡

イ わらべうた

ウ 長唄

エ 祭り囃子^{ばやし}

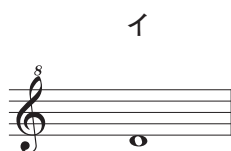
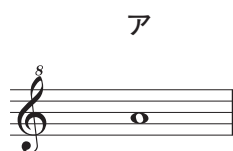
問 4 G7の構成音として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



問 5 ニ短調の音階として適切でないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



問 6 次の図は，ソプラノリコーダーの運指を，歌口が上になるように示したものである。この運指で演奏される音を，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



問 7 膜鳴楽器でないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア チャンゴ

イ アゴゴー

ウ タブラー

エ ボンゴ

問 8 楽語とその意味の組合せとして適切でないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア a tempo —— 歩くような速さで

イ espressivo —— 表情豊かに

ウ leggiero —— 軽く

エ maestoso —— 荘厳に

問 9 次の①～④の人物とその人物が活躍した時代の組合せとして最も適切なものを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

① セルゲイ・プロコフィエフ

② 世阿弥

③ ジョルジュ・ビゼー

④ ゲオルク・フリードリヒ(ジョージ・フレデリック)・ヘンデル

	①	②	③	④
ア	14～15 世紀	18 世紀	19 世紀	20 世紀
イ	20 世紀	14～15 世紀	18 世紀	19 世紀
ウ	20 世紀	14～15 世紀	19 世紀	18 世紀
エ	14～15 世紀	20 世紀	18 世紀	19 世紀

問10 日本の民謡には、拍にのったリズムの曲と、拍のない自由なリズムの曲がある。拍のない自由なリズムの曲を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 《よさこい節》

イ 《谷茶前》

ウ 《八木節》

エ 《江差追分》

図画工作

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 図画工作の目標及び内容 第1節 図画工作科の目標 1 教科の目標」に示された内容の一部である。文章中の空欄 ① ～ ⑤ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

造形的な見方・考え方とは、「感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと」であると考えられる。

(中略)

「対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え」とは、①，出来事などを、形や色などの視点で捉えることである。「造形的な視点」は、図画工作科ならではの視点であり、図画工作科で育成を目指す資質・能力を支えるものである。具体的には「形や色など」，「形や色などの②」，「形や色などの造形的な特徴」などであり、学習活動により様々な内容が考えられる。「自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと」とは、児童が心の中に像をつくりだしたり、全体的な②，③を思い浮かべたりしながら、自分と対象や事象との関わりを④，自分にとって意味や価値をつくりだすことである。これは、活動や作品をつくりだすことは、自分にとって意味や価値をつくりだすことであり、同時に⑤をもつくりだしていることであるという、図画工作科において大切にしていることも示している。

- [語群] A 見つめ直し B 自分自身 C 感じ
D 身の回りのもの E よさや美しさ F 情景や姿
G 材料や作品 H 深め I 新たな世界

[解答群]

	①	②	③	④	⑤
ア	D	E	G	A	B
イ	G	C	F	H	B
ウ	F	C	G	H	I
エ	G	E	D	A	I

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 各学年の目標及び内容」に示された、中学年児童の活動の傾向として次の①～④の各文のうち最も適切なものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 友人の発想やアイデアに関心をもったり、表し方を紹介し合ったりするなど、周りとの関わりが活発になる。
- ② 自分なりに納得のいく活動ができたり、作品を完成させたりしたときなどに充実感を得る傾向が強くなってくる。
- ③ 手などの働きは巧みさを増し、扱える材料や用具の範囲が広がり、多様な試みが見られるようになる。
- ④ つくりながら考えたり、結果にこだわらずに様々な方法を試したり、発想が次々と展開したりするなどの様子が見られる。

ア ①② イ ②③ ウ ①③ エ ③④

問 3 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」における指導上の配慮事項に関する記述である。文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(11) ① することの価値に気づき、② や美術作品などに表れている ① 性を大切にする態度を養うようにすること。また、こうした態度を養うことが、③ の ④ ， 発展、① を支えていることについて理解する素地となるよう配慮すること。

〔語群〕 A 美術文化 B 文化的で豊かな生活 C 造形物
 D 継承 E 創造 F 造形
 G 教育普及 H 自分たちの作品 I 浸透

〔解答群〕

	①	②	③	④
ア	E	A	B	D
イ	F	C	G	I
ウ	F	A	B	E
エ	E	H	A	D

問 4 低学年における「工作にあらわす」活動として、紙を折ったり重ねたりして切り、できた形を飾る授業を行う。指導上の留意点として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 曲線や丸い形を切るときは、はさみを回さず、紙の方を回して切るとよい。その際、刃先を使うようにすると安定して切り取ることができる。人差し指と小指で安定させてはさみを持ちながら、刃先でくり返し切っていくようにする。

イ 紙を折ったり重ねたりして切り、できた形を飾る授業の楽しさは、紙を開いて模様ができたときの喜びやおもしろさである。どのように折ったり切ったりすると楽しい模様ができそうか、児童自身が折り方や切り方を考え、試しながら工夫してできるように声掛けや支援をする。

ウ 導入時に教師が示範することは大切である。はさみの安全な使い方を確認しながら、どのように折ったり切ったりしたらよいかを問いかけ、児童に関心をもたせる。様々な技法を示し過ぎると児童の発想の妨げになるため注意する。

エ はさみで形を線のとおり正確に切るというよりも、切る心地よさを感じながら楽しくはさみを使えるような題材を設定する。表し方を工夫して創造的に表す過程で使い方に関心を持ち、はさみで切ることに十分に慣れるようにする。

問 5 中学年において「カードで相手に気持ちを伝える」作品づくりに取り組む。「指導上の留意事項」として示された，次の①～⑤の文の正誤(○×)の組合せとして最も適切なものを，下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 伝えたい気持ちに合った形や色を見付け，工夫してつくらせる。
- ② 仕掛けの一つとして，飛び出す仕組みを考えるなど，もらって嬉しくなるようなカードをつくらせる。
- ③ 贈る相手の顔や気持ちを思い浮かべながら，工夫してつくらせる。
- ④ 相手を喜ばせるため，贈るカードをつくるときは，自分がつくりたいものをつくらせる。
- ⑤ 贈るカードをつくるときは，常に仕組みのことだけを考え，確かめながらつくらせる。

[解答群]

	①	②	③	④	⑤
ア	×	○	○	○	×
イ	○	○	○	×	×
ウ	○	×	○	○	×
エ	×	○	×	○	○

問 6 高学年において「墨と水で絵をえがく」という授業を行う際の「学習のめあて」として適切でないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 墨，水，紙の特徴を捉え，表し方を工夫する。
- イ 試した墨の濃さやできた形などから，表したいことを考える。
- ウ 墨と水でかくことを楽しむ。
- エ 日本及び諸外国の独特な表現形式を活用できるようにすることを，常に意識しながら取り組む。

問 7 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」におけるコンピュータ、カメラなどの情報機器の扱いに関する記述の一部である。文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

コンピュータは、その特長を生かして、何度でもやり直したり、① たりするなど、様々に ② ながら表現の可能性を広げていくことができる。また、鑑賞活動においては、作品や作品に関する情報を ③ から検索するなど、自分の見方や感じ方を ④ いく手掛かりに活用することもできる。

〔語群〕 A インターネット B 変化させ C 試し
D 深めて E つなぎ合わせ F 文献
G 色を変え H 探して I 形を変え

〔解答群〕

	①	②	③	④
ア	C	I	F	H
イ	C	B	A	D
ウ	G	C	A	D
エ	G	E	A	D

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

自分の感覚や行為を通して気付くとは、①，並べたり，つないだり，②するなどの行為や活動を通して，③などに気付くことである。このことにより，表現したり鑑賞したりするときに，③などに着目しながら活動するようになることを示している。

F 材料と表現

	①	②	③
ア	A	D	E
イ	A	D	C
ウ	B	A	F
エ	C	A	E

ア 雪の多い地域では、雪に色水を染み込ませて「色のシャーベット」をつくる体験活動を行う。

イ 短時間でたくさんの色水をつくれるように、水を入れたペットボトルの中に一気に多くの絵の具を落とすようにする。

ウ ペットボトルで色水をつくる活動では、それぞれの色の色水をつくることとともに、色水が入ったたくさんのペットボトルを並べて、「色の仲間の学習」に取り組む。

エ 二つのペットボトルを重ねたり透かしたりして、色の見え方の変化を楽しむ。

問10 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」の「地域の美術館などの利用や連携」に示された内容の一部である。文章中の空欄 ① ～ ⑤ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

地域の美術館などとは、美術館や ① など、親しみのある美術作品や ② の中の造形などを ③ している地域の施設や場所のことを示している。利用においては、鑑賞を通して「 ④ 」を育成する目的で行うようにするとともに、児童一人一人が ⑤ な鑑賞ができるよう配慮する必要がある。

- 〔語群〕 A 能動的 B 知識及び技能 C 自発的
 D 画廊 E 展示 F 博物館
 G 思考力・判断力・表現力等 H 生活 I 受動的
 J 公開

〔解答群〕

	①	②	③	④	⑤
ア	F	H	E	G	A
イ	D	F	J	G	A
ウ	F	H	J	B	I
エ	D	H	E	B	C

家庭

問 1 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 1 節 家庭科の目標」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 家庭科では、生命の維持や心身の成長発達などに関わる人間の基本的な営みが行われる家庭生活を主な学習対象としている。
- イ 家庭生活に関わりの深い人やもの、環境などとの関連を図りながら、食べることや着ること、住まうことなどを扱う。
- ウ 探究的・主体的な活動を通して、具体的な学習を展開することにより、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付ける。
- エ 家庭科で身に付けた知識及び技能を活用して、身近な生活の課題を解決したり、家庭や地域で実践したりできるようにすることを目指す。

問 2 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 1 内容 A 家族・家庭生活 (3) 家族や地域の人々との関わり」に示された指導事項に基づく第 6 学年の授業計画である。この授業について適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 1 学年の児童とともにグループに分かれておやつ作りを行う交流会を計画した。事前におやつを作ってみて、第 1 学年の児童の姿を想像しながら、どのように説明すれば楽しく一緒に作れるか、注意する点がどこにあるかを、グループごとに話し合わせる。交流会当日は、一緒におやつを作り、交流会後に感想を書かせる。

- ア 総合的な学習の時間や特別活動など他教科等における交流活動等の学習と関連させることもできる。
- イ 交流会後の感想は、工夫したところとさらに工夫が必要なところを書かせて、関わり方について振り返って考えられるようにする。
- ウ おやつ作りの内容は、これまでの家庭科の授業の経験から、第 6 学年の児童が作りやすいものにする。
- エ 交流会を通して、第 1 学年の児童と第 6 学年の自分とを比較して、発達の視点で、相違を理解できるようにする。

問 3 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の内容〔第5学年及び第6学年〕 1 内容 A 家族・家庭生活 (4) 家族・家庭生活についての課題と実践」に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第5学年の最初に取り組み、ガイダンス的な内容とする。

イ 実践後は、実践発表会を設けたりするなど活動を工夫して、効果的に実践できるようにする。

ウ 計画、実践、評価・改善など一連の学習活動を通して、生活をよりよくしようとする態度を養うようにする。

エ 自分や家族・地域の人々にとって、よりよい生活とはどのようなものなのかを考えられるようにする。

問 4 「ご飯とみそ汁」に関する学習で、「ご飯」について調べることにした。「ご飯」に関する説明として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 玄米から、ぬか層と胚芽を取ったものを白米や精白米という。

イ なべでご飯を炊く場合、加熱する前に十分に吸水させておかないと、芯の残った硬いご飯になる。

ウ 日本では、米の単位を「合」で表す。1合は約150g(180mL)である。

エ 白米を炊く際に加える水の量は、白米の体積の1.5倍にする。

問 5 「みそ汁」の調理について学習した後、「みそを用いた郷土料理」について調べることにした。「みそを用いた郷土料理」に関する説明の組合せとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	郷土料理名	地域名	使用材料(例)
ア	鮭のちゃんちゃん焼き	北海道	鮭, ほっけ, 野菜, きのこと, みそ
イ	ほうとう	山梨県	かぼちゃ等の野菜, きのこと, 平打ち麺, みそ
ウ	あんもち雑煮	福井県	大根, 人参, あん入り丸餅, だし汁, 白みそ
エ	からしれんこん	熊本県	れんこん, からし, 小麦粉, うこん, みそ

問 6 「物や金銭の使い方と買物」を扱う単元で、「消費者の役割」に関する授業を行うことになった。
授業の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 買物をする前に、本当に必要かどうかをよく考えることや、買った後に十分に活用して最後まで使い切ることを理解できるようにする。
- イ 自分や家族の消費生活が環境などに与える影響について考え、買物袋を持参したり、不用品の包装は断ったりするなどの工夫が大切であると気付けるようにする。
- ウ 買物で困ったことが起きた場合には、身近な大人に相談したり、保護者と共に消費生活センターなどの相談機関を利用したりする方法があることを伝える。
- エ 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者基本法の趣旨について具体的に説明する。

問 7 手縫いの学習で、針と糸の扱いについて指導することになった。針や糸の扱いについて適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 針穴に通りやすいよう、糸の先をななめに切る。
- イ 針穴を上にして持ち、糸の先をできるだけ長くして持ち、針穴に通す。
- ウ 糸は、扱いやすいよう、腕の長さ(50～60 cm)くらいで切る。
- エ 恒重式番手の場合、糸は、番手が大きいほど細く、布の種類や厚さによって使い分ける。

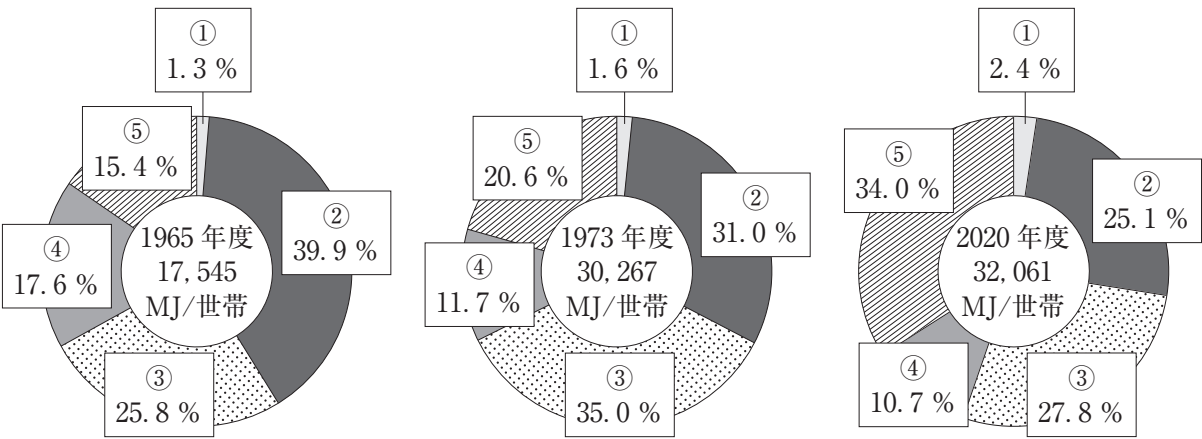
問 8 衣服の働きについて学習することになった。保健衛生上や生活活動上の働きとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 暑さや寒さから体を保護する。
- イ 汗や皮脂を吸い取り、肌を清潔に保つ。
- ウ 色や柄の組合せによって個性を表現する。
- エ 運動や作業などをしやすくする。

問 9 「季節の変化に合わせた住まい方」について学習することになった。住まい方の工夫として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 窓は、1か所開けるよりも、対面の2か所を開ける方が効果的な通風が得られる。
- イ 朝顔やへちまなどのつる植物を利用したグリーンカーテンは、日射遮蔽による効果と植物の蒸散の効果がある。
- ウ 床面に置くような暖房器具は、窓側よりも、窓と反対側に設置する方が、室内の上部と下部の温度差は小さくなる。
- エ 打ち水をすることで、地面に撒いた水が蒸発する際に周りの熱を奪い、地面の温度が下がる。

問10 「環境に配慮した生活」について学習することになった。次の図は、1965 年度、1973 年度、2020 年度の世帯当たりのエネルギー消費原単位とエネルギー消費の用途別内訳を調べた結果である。図中の ① ～ ⑤ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



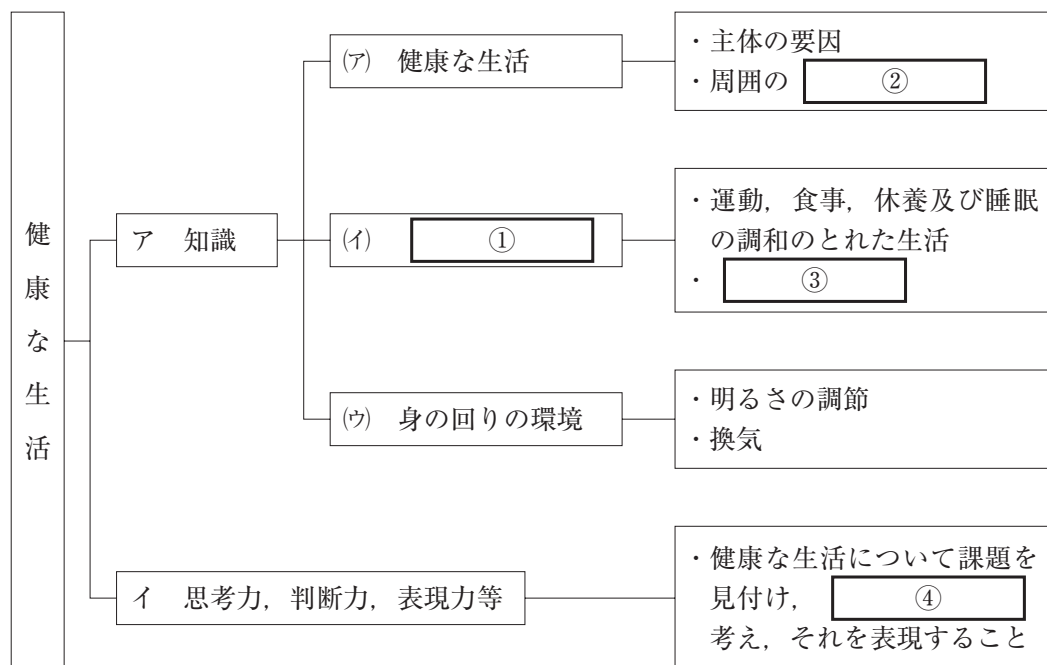
※ MJ：メガジュール

	①	②	③	④	⑤
ア	給湯	冷房	暖房	動力・照明他	ちゅう 厨房
イ	厨房	冷房	暖房	給湯	動力・照明他
ウ	冷房	暖房	給湯	厨房	動力・照明他
エ	給湯	暖房	冷房	動力・照明他	厨房

出典：「令和3年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書 2022)」
(令和4年6月資源エネルギー庁)

体 育

問 1 次の図は、『小学校学習指導要領解説』に示された，中学年で学ぶ「健康な生活」の内容構成である。図中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，下の選択肢ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



[選択肢]

	①	②	③	④
ア	1日の生活の仕方	環境の要因	体の清潔	その解決に向けて
イ	体の発育・発達	人的な要因	年齢に伴う変化	その個人差について
ウ	体の発育・発達	環境の要因	年齢に伴う変化	その解決に向けて
エ	1日の生活の仕方	人的な要因	体の清潔	その個人差について

問 2 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 体育科の目標及び内容 第 2 節 各学年の目標及び内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容 G 保健」からの抜粋である。文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

喫煙については、せきが出たり ① が増えたりするなどして呼吸や心臓のはたらきに対する負担などの影響がすぐに現れること、 ② により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすことを理解できるようにする。また、喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れるようにする。

飲酒については、判断力が鈍る、呼吸や心臓が苦しくなるなどの影響がすぐに現れることを理解できるようにする。なお、飲酒を長い間続けると ③ などの病気の原因になるなどの影響があることについても触れるようにする。

- | | ① | ② | ③ |
|---|-----|------|----|
| ア | 心拍数 | 受動喫煙 | 肝臓 |
| イ | 体重 | 能動喫煙 | 胃 |
| ウ | 体重 | 受動喫煙 | 肝臓 |
| エ | 心拍数 | 能動喫煙 | 胃 |

問 3 中学年の表現運動領域におけるリズムダンスを指導する際の選曲のポイントとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 全身で即興的に踊ることができる曲を選ぶ。
- イ サンバの曲では、スキップができる BPM(Beats Per Minute)を目安にして曲を選ぶ。
- ウ 流行っているなど、子供の興味や関心を引くことができるかどうかを最優先に曲を選ぶ。
- エ ロックの曲では、BPM が 140 前後で、やや速めの弾んで踊れる曲を選ぶ。

問 4 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2 内容D 水遊び」に示された「水の中を移動する運動遊び」及び「もぐる・浮く運動遊び」で触れる水遊びの楽しさについて、次の①～④の正誤(○×)の組合せとして最も適切なものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 水につかって歩いたり走ったりする楽しさ
- ② け伸びや初歩的な泳ぎをする楽しさ
- ③ 水に浮いて進んだり呼吸したりする楽しさ
- ④ 水にもぐったり浮いたりする楽しさ

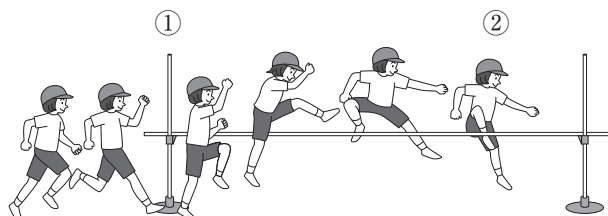
[解答群]

	①	②	③	④
ア	○	○	○	×
イ	○	×	×	○
ウ	×	○	×	○
エ	×	×	○	×

問 5 高学年で走り高跳びの授業を行う際、次の図で示された①～④の場面における指導内容の正誤(○×)の組合せとして最も適切なものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

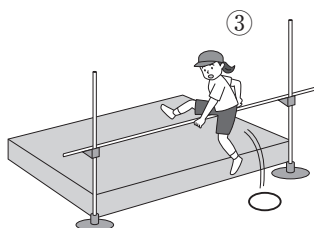
走り高跳びの行い方の例

○はさみ跳び

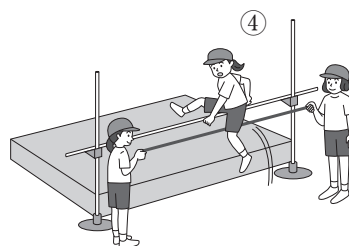


走り高跳びの練習の仕方の例

○よい位置で踏み切る練習



○足を高く上げる練習



- ① 最後の一步はふわりと柔らかに踏み切る。
- ② 抜き足から着地する。
- ③ 高く跳ぶ途中でバーに足がかかる場合は踏切りが近すぎるため、踏切り位置を調整する。
- ④ グループのメンバーがバーと平行にゴム紐を持ち、ゴム紐に足を引っかけて高く振り上げる意識をもてるようにする。

[解答群]

	①	②	③	④
ア	○	×	○	×
イ	○	×	○	○
ウ	×	○	×	○
エ	×	×	○	×

問 6 『小学校学習指導要領解説』に示された、中学年の体づくり運動における「多様な動きをつくる運動」を構成する運動とその例示の組合せとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	運動	例示
ア	力試しの運動	友達と背中合わせになりながら、片足で立ったり座ったりする
イ	用具を操作する運動	補助を受けながら竹馬や一輪車に乗る
ウ	体を移動する運動	ジャングルジムや肋木、登り棒などに登ったり、下りたりする
エ	体のバランスをとる運動	友達と手をつなぎながら、寝転んだり、転がったり、起きたりする

問 7 マット運動の授業で演技発表会を開催したところ、児童が次の演技を披露した。この演技をマット運動の技の分類である「系・技群・グループ」の観点から見たとき、演技に含まれない要素を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

[演技]

頭はね起き → 開脚前転 → 側方倒立回転 → 伸膝後転

ア 回転系・接転技群・前転グループ

イ 回転系・接転技群・後転グループ

ウ 回転系・ほん転技群・はね起きグループ

エ 巧技系・平均立ち技群・倒立グループ

問 8 6 歳から 11 歳まで(小学校全学年)の男女児童を対象とする新体力テストについて誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 握力は、右左交互に 2 回ずつ測定を実施する。

イ 上体起こしは、30 秒間の回数を記録する。

ウ 反復横跳びは、20 秒間のテストを 2 回実施してよい方の記録をとる。

エ 50 m 走の記録は、1/10 秒単位とし、1/10 秒未満は切り捨てる。

問 9 「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示された配慮事項について、次の文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学校や地域の実態を考慮するとともに、 ① 児童の運動経験や技能の程度などに応じた指導や ② を目指す活動を行えるよう工夫すること。特に、運動を ③ と感じている児童や、運動に意欲的に取り組まない児童への指導を工夫するとともに、障害のある児童などへの指導の際には、周りの児童が ④ するよう指導すること。

	①	②	③	④
ア	運動が得意な	教師から与えられた課題の解決	嫌い	様々な手助けを
イ	個々の	児童自らが運動の課題の解決	苦手	様々な特性を尊重
ウ	運動が得意な	運動の技能の習得	苦手	様々な特性を尊重
エ	個々の	教師から与えられた課題の解決	嫌い	様々な手助けを

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 体育・健康に関する指導」に関する事柄について適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 全国体力・運動能力、運動習慣等調査などを用いて児童の体力や健康状態等を的確に把握する。
- イ 学校や地域の実態を踏まえて、それにふさわしい学校の全体計画を作成する。
- ウ 体育・健康に関する指導は、主に体育科の時間に行い、家庭科や特別活動の時間でも健康に関する指導に限って行うことができる。
- エ 地域の関係機関・団体の協力を得つつ、計画的、継続的に指導する。

外国語(英語)

問 1 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第 4 章 外国語活動 第 1 目標」に示された内容である。文中の空欄 に当てはまる語句として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ア 基盤
- イ 基礎
- ウ 素地
- エ 前提

問 2 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標 (1) 聞くこと ウ」に示された内容である。文中の空欄 に当てはまる語句として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の を捉えることができるようにする。

- ア 簡単な語句や基本的な表現
- イ 具体的な情報
- ウ 概要
- エ 要点

問 3 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第2章 各教科 第10節 外国語 第1 目標」に示された内容である。文中の下線部ア～エのうち、その内容として誤りのあるものを一つ選んで記号で答えなさい。

- (1) ア外国語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて，日本語と外国語との違いに気付き，イこれらの知識を理解するとともに，ウ読むこと，書くことに習熟し，エ聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

問 4 外国語活動及び外国語科における語の取扱いとして最も適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 4年間で指導する語数の下限は，600語とする。
- イ 4年間で指導する語数の下限は，700語とする。
- ウ 4年間で指導する語数の上限は，600語とする。
- エ 4年間で指導する語数の上限は，700語とする。

問 5 小学校外国語科での「自分の趣味や得意なこと」を発表する活動における指導として最も適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア “I like soccer.”，“I am good at playing soccer.”，“I will practice hard.”などの表現を指導する。
- イ 子供同士が互いをよく知っている学級の場合，話す意欲が下がらないよう，いくつかの動詞や頻度を表す副詞を使って，発表内容が豊かになるよう工夫をする。
- ウ 発表原稿を書かせた上で，発表の練習をさせる。
- エ “I can swim.”と“I am good at swimming.”を例に，動名詞の用法を指導する。

問 6 符号の使い方に誤りのある英文を，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア Hello, Takashi.
- イ Is he a dentist?
- ウ I like baseball, and basketball.
- エ Please come here.

問 7 母音の発音が異なる語を含む語群を，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア room / tomb / womb
- イ height / eight / great
- ウ go / slow / toe
- エ mouse / house / blouse

問 8 次の英文に対する返答として最も適切なものを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

Do you mind my asking a question?

- ア Yes, go ahead.
- イ Well, never mind.
- ウ No, thank you.
- エ Of course not.

問 9 次の①～④の英文は、それぞれある動物についての説明である。その組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① a large tawny-colored cat that lives in prides, found in Africa and northwestern India. The male has a flowing shaggy mane and takes little part in hunting, which is done cooperatively by the females.
- ② a very large solitary cat with a yellow-brown coat striped with black, native to the forests of Asia but becoming increasingly rare.
- ③ a very large grey animal with four legs, two tusks and a trunk that it can use to pick things up.
- ④ a large heavy African or Asian animal with thick skin and either one or two horns on its nose.

	①	②	③	④
ア	ライオン	トラ	ゾウ	サイ
イ	トラ	ゾウ	サイ	ライオン
ウ	トラ	サイ	ライオン	ゾウ
エ	ライオン	サイ	ゾウ	トラ

問10 次の英文を読み、空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句として最も適切な組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

David Paul
Teaching English to Children in Asia

許諾を得ておらず不掲載

	①	②	③	④
ア	often	so	give	does not mean
イ	often	but	keep	means
ウ	seldom	so	keep	does not mean
エ	seldom	but	give	means